

11月3日が「オゾンの日」記念日に正式登録

既に会報などで報告しているごとく、本年3月に本学会の了承を得た上で、日本オゾン協会（JOA）と共に、11月3日をオゾンの日（1103→いいオゾンの語呂合わせです）とすることを日本記念日協会に申請し、2018年8月14日に特定非営利活動法人 日本オゾン協会と共同で「オゾンの日」の記念日が正式に日本記念日協会に正式に登録されました（記念日登録証）。

これは、業界団体がオゾンのアピールをすることで、オゾンの安全性、信頼性を高めることを目指したものです。

日本記念日協会のホームページにアクセスしていただくと New Anniversary（新しい記念日）で紹介され、以下の内容の「記念日の由来」が見ることが出来ます。

特定非営利活動法人日本オゾン協会と日本医療・環境オゾン学会の2団体が共同で制定。
人間の生活や地球環境に大いに貢献しているオゾンに対する正しい理解を広めるのが目的。
日付はオゾンの化学式がO₃であり、11月3日を「いい（11）オゾン（O₃）」と読んで。

これを記念するいくつかの事業を、日本医療・環境オゾン学会 環境応用部会/オゾン水研究会が中心となり本年秋に以下のような企画を立案し、会員へのアンケートを実施中です。ちなみに、その内容の主なものは認定式、冊子・ポスターの配布、動画作成、子供用副読本、オゾン利活用事例集などです。

この記念事業がきっかけとなり、さらなるオゾンに対する理解が深まり、水処理産業、食品産業、農林水産業、医療分野をはじめ一般家庭など多分野にわたる利活用の普及が進展することを期待します。

会員各位のご支援、ご協力をお願いいたします。

